

# 小山実稚恵ピアノ・リサイタル

M I C H I E K O Y A M A P I A N O R E C I T A L



©ND CHOW

## 小山実稚恵 (ピアノ) *Michie KOYAMA, Pianist*

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。

Bunkamuraオーチャードホールをはじめ、全国6都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡)にて行われている春・秋年2回、2006年～2017年の壮大なプロジェクト"12年間・24回リサイタル・シリーズ"が、本年いよいよ12年目を迎える。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響(現・チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、アカデミー室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、ボルティモア響などと共演しており、フェドセーフ、テミルカーノフ、デュトワ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者との共演も数多い。

また、ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなどのコンクールでは審査員を務める。2011年の東日本大震災以降、被災地の学校や公共施設等で演奏を行っており、2015年より被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務めるプロジェクト『こどもの夢ひろば "ボレロ"』が、仙台においてスタートした。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結ぶ。26枚目の『ヴォカリーズ』から『シャコンヌ』、『シューベルト:即興曲集』と3作連続で「レコード芸術」の特選盤に選ばれる。

2017年5月には、30枚目の『バッハ:ゴルトベルク変奏曲』のリリースを予定している。また、はじめての著作となる『点と魂と』～スイートスポットを探して～が、KADOKAWAより今年5月に出版される。

これまで、2005年度 文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞ならびにレコード・アカデミー賞(器楽曲部門『シャコンヌ』)、2015年NHK交響楽団「有馬賞」、2015年度 文化庁芸術祭音楽部門優秀賞ならびに第28回ミュージック・ペンクラブ音楽賞、2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞している。

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。



アルバム・デビュー30周年記念 初のバッハ・アルバム完成!

## MICHIE KOYAMA

### 小山実稚恵『バッハ:ゴルトベルク変奏曲』

1987年2月、「ショパン:ピアノ・ソナタ第3番」でアルバム・デビューしてから30年。

充実の時を迎えたピアニスト=小山実稚恵が奏でる魂のバッハ!

オリジナル・アルバムとして30枚目となる最新作が完成。

2017年5月3日発売

ハイブリッドディスク:¥3,000+税

Sony Music Japan International



『カンタービレ』

¥1,600+税 BSCD2: SICC 30388

最新  
ベスト盤  
発売中

シューベルト:即興曲第3番変奏長調 作品90/3/リスト:ため息/ショパン:練習曲第2番イ短調 作品10-2/ドビュッシー:夜想曲/ラフマニノフ:「音の絵」響へ祝詞 作品39/ツグナトス:「なげき、またはマフと夜泣き」(3組曲:ゴイエスカス)より/バッハ:パルティータ第2番ハ長調BWV326~V. ロンドー/プロコフィエフ:別れの前のロメオとジュリエット/アルベニス:バレーナ・カプリチオ・ラヴェル:「恋王女」のためのパヴァーヌ/スクリャーピン:練習曲集/短調 作品2-1/プーラムス:間奏曲イ長調 作品118-2/ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 作品22

